

【教育活動の名称】 人権週間の取組

【副題】

～人権学習と授業をつなぐ図書館経営～

【学校名】

長浜市立木之本中学校

1 本校の概要

本校では、学校教育目標である「いのち・人権を大切にし、社会に貢献できる心豊かな人間の育成」に向けて、人権教育を根幹においた教育活動を展開している。学区内に、園・小・中・高が隣接しており、「自尊感情」育成に向けて、校種間での定期的な情報共有、地域の方のボランティア活動など系統的な取組を行っている。

2 取り組んだ内容

- (1) 1学期人権週間…「身近な人権・仲間づくり」
人権週間初日…生徒会長による講話。
朝読書の時間…学級担任による資料の範読。
【大切なともだち】【人を思う気持ちと創造力】
【言の「葉」】 生徒感想記入。
道徳の時間…いじめのない世界へ「ふたつの心」
- (2) 2学期人権週間…「福祉について」
人権週間初日…生徒会長による講話
朝読書の時間…学級担任による資料の範読。
【障がい者と人権について】【私にできること】
【支え合い、それはときめき】【高齢者と障がいのある人について】 生徒感想記入。
人権学習集会…NPO 法人『だんない』で働く方を講師に招き、講演を聴く。その後ボッチャに挑戦し、交流を深めた。
- (3) 3学期人権週間…「SNS と人権」
人権週間初日…生徒会長による講話
朝読書の時間…学級担任による資料の範読。
【あなたはインターネットを使いすぎていませんか】【相手の気持ち】【ネットの真偽について】
【情報の真偽を確かめよう SNS 闇バイト編】
生徒感想記入。

3 活動の成果

生徒の感想より

- ・「いじめを正当化する気持ちと後悔の二つの心で揺れる主人公の心情を共感的に考えることを通して、何が正しく、何が誤りであるかという基準をもとに、周囲の言動に左右されることなく、最終的に自分がよいと思う行動を選択する判断力が必要だと改めて感じた。」
 - ・「私はまだ SNS をやっていないけれど、始めた時には、個人が特定されるような写真を投稿しないように気をつけたいです。メッセージを送る時も、受け取る相手のことを考えて、時間や言葉遣いにも気をつけたいし、投稿する内容もよく考えたいと思います。」
 - ・「相手のことを考える想像力が必要だと感じた。」
 - ・「言葉は刃物にもなるし、人を助けるものにもなると思った。」
 - ・「自分が良かれと思った内容でも、受け取る人によって異なることがあるので、投稿する時は慎重にしたい。」
- 子どもたちが人権週間で学んだことをきっかけに、自分でもっと調べられる環境づくりができたことが大きな成果である。図書館で実際に手に触れるなかで、より身近なものとして考えられる機会が得られた。図書ボランティアさんによる読み聞かせを通して、さまざまな人権について考える時間をもてたことも成果である。英語の時間には、教員と学校司書が協働し、英語絵本の読み聞かせを行った。英語版と日本語版同時の読み聞かせは、子どもたちにとって新鮮であり、また物事を多面的に観ることの大切さに気付く機会となった。

今後も学校図書館を有効に活用し、子どもたちの知りたい、調べたいという気持ちの向上を図っていきたい。また、子どもたちが主体となった人権週間の取組を実現していきたい。



人権学習集会の様子

図書ボランティアさんによる読み聞かせの様子



ボッチャ体験の様子



図書ボランティアさんの本選びの様子



授業での読み聞かせ